

## 経営者への活きた言葉

### 勤勉性と忠誠心で試練を乗り越える

1. 「天は試練を与えてその人を試す」という言葉がある。  
天はその人の魂を磨き、人格をさらに成長させるために試練を与えるのだ、ともいわれる。  
天は無常無自性である。絶えず変化し、一瞬もとどまらない。  
そして、その働きは善悪という人間の価値判断をはるかに超越している。それが時として、言葉を絶する試練を人間に与えることにもなる。
2. 天の試練に対して人類は、そこに何かの意味、何かの光を見出し、くみ取ろうとすることで試練を受け止め、乗り越えようとしてきた。この地上に存在するあらゆる国家、組織、個人で、試練を受けずに来れたものは一つもないだろう。すべての生命体は必ず何らかの試練を受け、その試練を乗り越えて、いま、ここにあるのだ。
3. 戦後66年、私たちの父祖はまさに壊滅状態から立ち上がり、見事によみがえったのだ。  
わずか10年で経済基盤を復興させ、19年後には東京オリンピックを開催するまでに国力を回復させ、成長の軌道に乗せたのだ。その原動力は何か。  
一つは日本人の勤勉性である。もう一つは忠誠心である。  
この二つの美質によって日本は66年前の壊滅的試練を乗り越え、今日の繁栄を築いた。  
この先人の足跡に、私たちは多くを学ばなければならない。

(参考:「致知」2011年7月号)

## 経営者のための理念・哲学

### 精神的にも物質的にも豊かな国へ 西水美恵子(前世界銀行副総裁)

1. 「アジアの奇跡」とすら言われた日本の戦後復興は悪例です。  
復興の目的は豊かな国民生活、経済成長はその重要な手段の一つだったはず。  
ところが、経済成長そのものが国政の目標にすり替わり、精神的な豊かさとのバランスを失ってしまった。
2. 日本人はカネとモノだけでは真の豊かさは得られないと気づいています。  
精神的にも物質的にも豊かな国を求めている。自然と伝統文化とともに生き、人間的な絆がある安心できる社会で暮らしたいと。これこそ東日本大震災の復興の青写真にすべき未来の日本の姿です。

(参考:「日経ビジネス」: 2011年4月18日号)